

迎春

新年のご挨拶



安心安全のまちづくり
活気あふれる湯浅町

湯浅町長
上山章善



皆様方におかれましては、ご健勝に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、町行政に対してご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。新年を迎え、持ちも新たに本年も町行政の運営に全力で取り組んでまいり所存でございます。和歌山県内で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されたから、間もなく2年になります。その間に、この感染症は、全国的、そして世界的にも感染が拡大し、緊急事態宣言をはじめ経済活動、そして日常生活において制限されるものが多くありました。発生当初は、このように影響が長期化するとは思っていませんでした。湯浅町においても、約2年にわたり、様々なイベントや行事の開催を見

送ってまいりました。しかしながら、日常的な対策やワクチン接種などにより、感染症対策を考慮した新たな形でのイベントの実施に向けて模索しているところです。さて、町民の皆様の憩いの場となり、かつてのように駅前周辺に賑わいが戻って欲しいという思いで進めてきた湯浅駅前周辺整備事業は、御茶殿公園の完成により一区切りとなります。JR湯浅駅を含む湯浅えき蔵、駅前駐車場、駐輪場、そして健康器具子ども向け遊具を備えた御茶殿公園が、湯浅町の玄関口として新たな顔となります。今後は、多くの方々が利用し、慣れ親しんだ価値ある旧JR湯浅駅舎を、懐かしさと親しみを持って、町民の皆様の集いの場となるよう整備してまいります。

また、今年春頃には方津戸に新たな地域福祉センターが完成いたします。さらに、栖原地区の浸水対策のための栖原ポンプ場の改築工事も着実に進めてまいります。この秋には、4回目に就任して2年を迎え、折り返し地点となります。初心に戻って、これまでの取組を振り返り、就任当初より掲げる安心安全に暮らせるまちづくり、そして湯浅町の更なる発展のための課題解決に向け、引き続き町政運営に精一杯取り組んでまいります。最後にになりましたが、本年も皆様方が健康に笑顔で過ごせますことをお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

ふるさとの
活力ある再始動を
湯浅町議会議長
横矢政明



明けましておめでとうございます。謹んで町民の皆さまに新春のお慶びを申し上げます。旧年中は町議会に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。度重なる緊急事態宣言の発出など、一昨年より続く新型コロナウイルス感染症により、日本のみならず世界経済への影響も計り知れないものがあります。そのような中、昨年度は我が国における新型コロナウイルスワクチンの接種率がG7の中でも首位となるなど、徐々にではありますが対策も進みつつあり、いわゆるアフターコロナを見据え、前向きな機運の高まりを感じています。ひとえにワクチン接種に尽力されました医療従事者の皆さまをはじめ、感染症対策への町民の皆さまのご協力の賜物と深く敬意と感謝を表す次第であります。

ふるさと湯浅町に目を向けますと、津波浸水区域内にあった、住民福祉推進の拠点である地域福祉センターの高台移転工事の完了が予定されており、住民の安全と生活の質の向上が図られております。

さらに、湯浅駅前駐車場に隣接する、幅広い世代の方が利用できる公園「御茶殿公園」が完成し、数年来の湯浅駅前周辺整備事業が完了することにより、町の玄関口として、また、町民の皆さまの憩いの場としての創出が期待されます。

大きな変容が予測される我が国の、また、世界の、そして何よりふるさとの新たな年に、町議会といたしましても、町行政と十分に議論を重ね、情勢に迅速かつ柔軟に対応し、皆さまのご期待に沿えるよう町の発展に全力を尽くしてまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が町民の皆さまにとりましてより良い年となりますことを心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



誇れるふるさと
湯浅町の教育をめざして
湯浅町教育委員会教育長
垣内淳

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様方にはおかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より幼児教育や学校教育、及び社会教育活動に対し、温かいご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

さて、昨年は、まだコロナ禍ではありましたが、感染症対策をしっかりとこなしながらも、学校生活や社会生活をどのように復活、また新しい形に変化させていくかを考え、出来ることから少しずつ実行していく一年となりました。

幼児教育では、保育機能に加え教育機能も充実し、小中学校との連携を更に強めていくため、保育所を認定こども園に移行しました。また老朽化していました向島保育所、武者越保育所を統合し「ゆあさこども園」としてスタートしました。感染症対策をおこないなながらも新しい園舎で、新しい友達と一緒に夢になって遊び込む子供たちの姿がとて素敵で、幼児教育の更なる発展や可能性が感じられました。

小中学校教育では、国から「令和の日本型学校教育」が示され、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現が求められています。今までのような学級での一斉授業に加え、一人一台タブレットとICTを活用し、個々の児童生徒の興味・関心等に応じた目標に向け学習を深めること、個々の課題に応じた補習を自分のペースでおこなうこと等を大切にします。また探求的な学習や体験活動を通じ、子供同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手を育成することが求められています。

本町では、既に一人一台タブレットを実現し、学校内での活用はもちろんのこと、家庭や各小学校を結んだオンライン授業をスタートさせています。協働的な学びでは学校だけでは出来ない多様な他者との学びについて、今後はコミュニティスクールの仕組みを活用して、是非、地域の皆様方にも参画いただく場面を設定していきたいと考えております。

社会教育では、昨年、えき蔵公民館事業がスタートしました。公民館主事がアイデアを出し合い、各種教室、単発講座、サークル活動等を実施し、約300名の町民の皆様方に参加いただきました。また、えき蔵図書館では開館から1年間で来館者数約11万人、貸出冊数約5万冊となっております。今後ますますご活用いただけるよう、取組の充実を図って参ります。

結びに、豊かな自然環境と古くからの歴史・文化資源を有する人情味あふれる湯浅町をこれからも大切にしながら、更に発展させていくため、幼児教育、学校教育、社会教育を連携包括した取組の充実を図って参りたいと考えておりますので、今後とも教育委員会の施策等に何卒ご理解とご支援をよりしくお願いいたします。

皆様方のご健康とご多幸をお祈りして、新年のご挨拶といたします。

謹んで新年のあいさつを 申し上げます

湯浅町教育委員会
教育委員長
職務代理員

湯浅町議会
副議長
議長

湯浅町長
副町長

垣内 淳
井上 栄次
竹井 沙賢
中井 瑞良
松下 瑞良

松本 典久
由良 祥治
三ツ橋 忠男
中畑 仁志
久松 光成
石澄 顕人
石橋 千歌子
石橋 一也

横矢 政明
村上 義隆
上山 章善



CONTENTS

P2新年のご挨拶
P4特集 私たちみんな寅年生まれ
P8町の話
P10御茶殿公園が完成します／にぎわい駅前フェスタを開催します！
P12子育て世帯への臨時給付金を支給します
新型コロナウイルスワクチン追加接種(3回目接種)のお知らせ
P13令和4年(2022)4月から成年年齢が20歳から18歳に変わります
P17保健師メッセージ
P19大相撲大阪場所 湯浅町長賞授与への寄附ご協力をお願い
湯浅えき蔵図書館きてみて！